



保護者説明会 令和3年10月7日（木）



当別町立
とうべつ学園

当別町教育委員会

優しく 強く

夢と志を持ち 希望に満ちた未来を拓く

- ・高い志と確かな学力をはぐくむ（知）
- ・思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ（徳）
- ・たくましい身体と心をはぐくむ（体）

社会を背負う、世界にも通用する
『知・徳・体』を備えた人

前期課程（1～6年生）			後期課程（7～9年生）		
基礎期（1～4年生）		充実期（5～7年生）		発展期（8～9年生）	
学びの基礎をつくる時期		学びを広げる時期		自分らしい学びを深める時期	

とうべつ未来学

ふるさと当別を知り、当別の未来について考え、自分の人生をデザインする力や、様々な方法で発信する力を育てます。

教科担任制

児童生徒の学力向上のため、5・6年生の一部の教科を教科担任制として、専門的な教科指導を実施します。

特別支援教育

子ども1人1人の発達段階に合わせた自立支援を行います。

学びのハンドブック

9年間の目標、学習内容や家庭学習への取り組み方などを1冊にまとめて、ご家庭に配布します。

異学年交流 異校種連携

日常的な縦割り班活動、地域や異校種との交流を通じて、豊かな人間性や社会性を培います。

部活動

基礎的体力の向上や基本的技能の習得を図るため、5年生から部活動に参加可能とします。

当別中学校の美術部生徒がデザインしました。
当別の初夏をさわやかに彩る「亜麻の花」をモチーフとし、当別小・中学校の伝統を受け継ぐ「当」の字を花びらに見立てています。

亜麻の花の周りには、学問の象徴である「ペン先」を配置し、それぞれ教育目標の「知」「徳」「体」、そしてデザインした生徒の願いである「絆」「夢」を表現しています。

中心には、とうべつ学園の「と」と「T」をデザインした文字を配置しました。



とうべつ学園校歌

作詞 西下航平
作曲 高木慶太

一、 曙光に照らさるる 当別に

真空色付く 亜麻の花

白樺戦ぎて 風涼やかに

平野を臨みて 深めよ心

二、 黄金に覆わるる 石狩野

紫雲にけふる 阿蘇の山

紅葉と交わりて 色鮮やかに

自然を仰ぎて 忘るな故郷

三、 歴史に刻まるる 開拓の

心受け継ぎ 身を立てり

川辺を伝いて 道賑やかに

一つに集いて 学べよ我ら

四、 雲雀東風吹かるる かすみ草

梟飛び立つ 影白く

希望を歌いて 身を健やかに

未来を拓きて 愛せよ故郷



町民の皆様からお寄せいただいたフレーズをもとに作詞されています。

1番では当別町の初夏の風景、2番では当別町の秋の風景、3番では当別町の歴史、4番では当別町の春の風景が表現されています。

作詞：西下航平氏（作曲家、指揮者、ピアニスト）

作曲：高木慶太氏（チェリスト、当別町出身）

コミュニティ・スクール

保護者・地域の皆様のご意見を学校経営に反映し、地域ぐるみで育てを進めていきます。



当別小・中学校の教職員・保護者による「制服検討委員会」で、生徒や保護者からのアンケート結果などをもとに、デザインや色を決定しました。

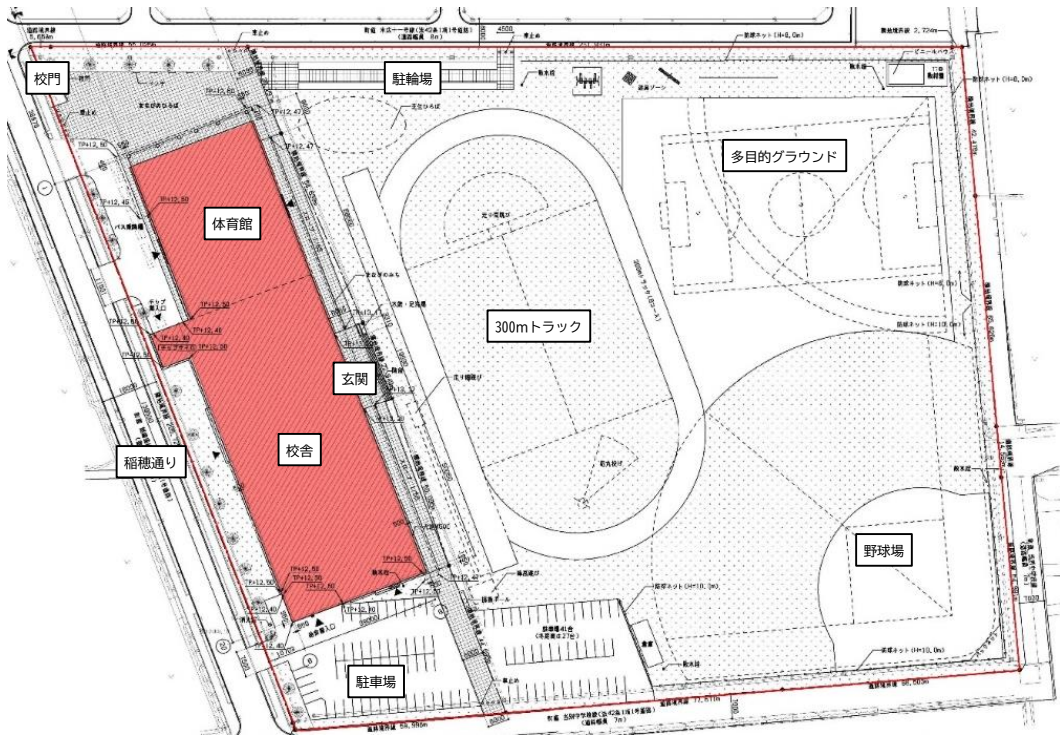
7年生から着用します。

ブレザーの襟やリボン、スラックス、スカートに、亜麻の花の色を取り入れています。

また、胸元のワッペン・ボタンには、とうべつ学園の校章があしらわれています。

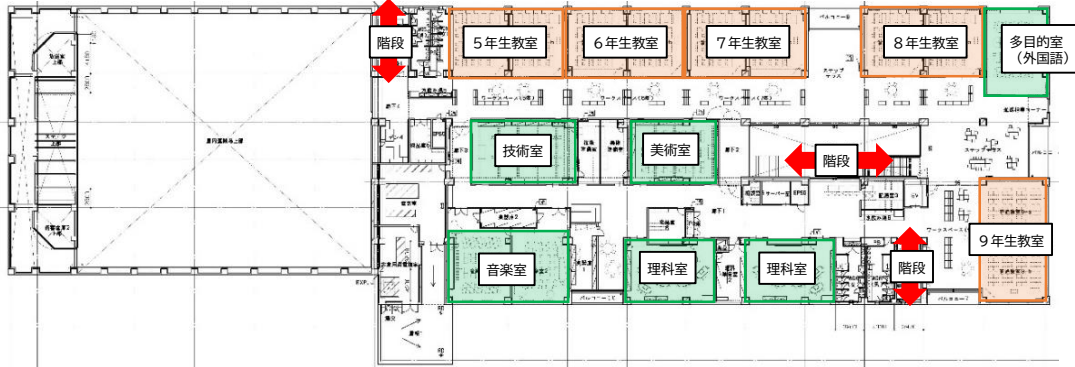


とうべつ学園校舎



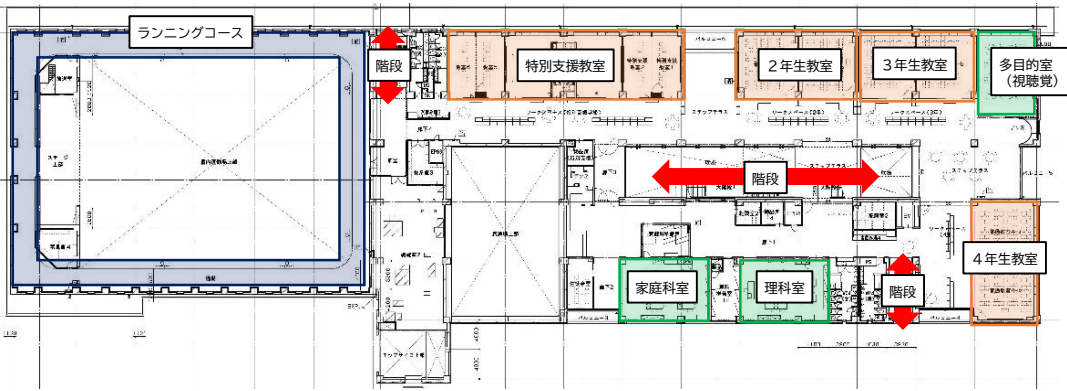
配置図

当別の豊かな自然を活かした、ゆとりあるデザインの校舎です。令和4年4月の開校に向け、建設工事が行われています。



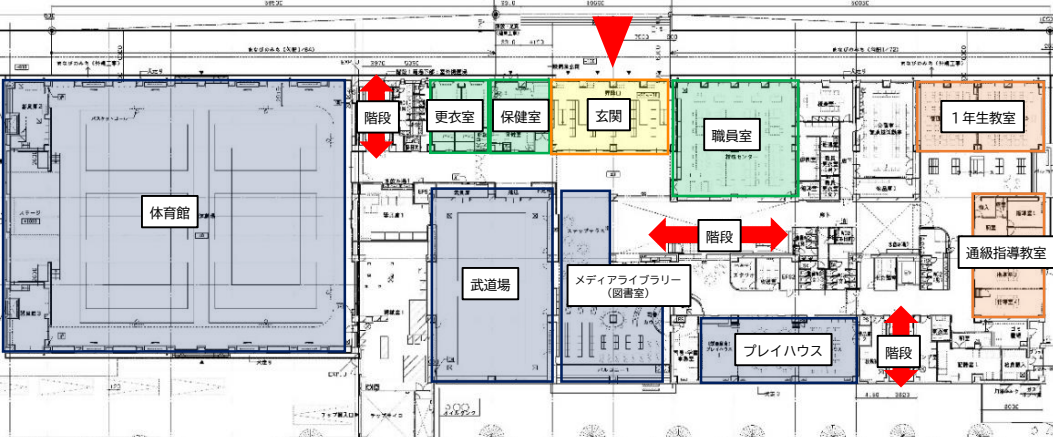
3階平面図

教室の前に様々な学習に活用できるワークスペースを配置。



2階平面図

体育館の2階部分にランニングコースを配置。



1階平面図

バスケットコート2面を擁する体育館や、武道場、学童保育を行うプレイハウスを配置。